

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 1年次 河合 真未

2018年3月4日～3月18日までの二週間、オーストラリアのゴールドコーストに滞在しました。その二週間の報告をここに記します。

1. TAFE での生活

TAFE というのは日本の専門学校より広い領域を教える学校といったものです。TAFE には2週間平日は毎日通いました。授業がおおると、カフェテリアにいくとお昼ごはんを出してくれます。そのお昼ご飯はお料理を習っている TAFE の生徒が作ったものです。そのため、同じお料理なのにどれも個性があって、それを友達と比べあいながら毎日たべるのが、楽しかったです。また、毎日メニューが違うし、デザートまでついていて、お昼ご飯がすごく楽しみでした。往復はホストマザーに毎日送り迎えしてもらうので、おうちの都合で早すぎたり、遅すぎたりしますが、早すぎても同じ状況の子がいたりして新たに友達ができました。

2. TAFE での授業

TAFE にはすごくユニークでフレンドリーな優しい先生しかいません。はじめの日にクラス分けがなされてから余計先生とは仲良くなれます。英語の授業は英語の文法ではなく、私が求めていたナチュラルイングリッシュや英会話を中心とした、そこでしか教えてくれないような、オーストラリアの地名、歴史、現代、自然について教わりました。薬学の授業では、薬について教わりました。日本のオーストラリアの薬の違い、薬局の違い、免許の違いなどです。それは、オーストラリアのこと以上に知らないことが多く、一回生の私には少し難しすぎたように思いましたが、少し背伸びをできたような気がして嬉しかったし、毎日成長していた気がします。授業が本当に楽しく、友達も面白くて、毎日大爆笑の私は、先生に注意されてばかりでしたが、最後にはあなたの笑い声が恋しいわと言ってくださりました。薬学の授業も英語の授業もわからない単語をたくさん学べました。

3. ホストファミリーとの生活

私のホストファミリーはホストマザーだけでした。初めは周りの家族がいる友達が羨ましかったけれど、だんだん仲良くなるにつれて、こうして落ち着いて話せる家庭はほかにないだろうと思いました。私は以前友達と二人でホームステイしたことがありました。そこでは、子供が二人いて、ほかの留学生もいろんな国籍のいろんな年代の方々が集まっており、英語があまり話せない私とは、相手にしてもらえないことはすごく少なかったです。あなたは会話の前に聞き取りだからと、映画を毎日見させられ、あなたの語彙力では無理だから

と、買い物にもいかせてくれなかったです。そう思うと、いまの生活はなんて幸せだろうと気づきました。英語を話しに来て、24時間、2週間のマンツーマンレッスンだと思いました。本当にその効果は期待以上のものでした。2週間ではなにも身につかないとおもっていたのですが、みるみるうちに話せるようになりました。初めは今の会話全部分かった！とかそんなレベルでした。しかし、日が経つにつれジョークが言えるようになり、言い回しが使えるようになりました。相手が言っていることがわからなくても、予測できたり、聞き返すことができるようになりました。また、まだ話していなくても、途中までくると、まるで日本語のように次何を言うかわかるようになりました。なにより嬉しかったのが、日本で言いたいことがあって、頭でそれを変換するのではなく、英語の会話に相手に対して、英語で思いつくことができるようになったことです。よく留学をするとすごく勉強したとありますが、本当にその党利だと思います。昼間はずっとホストマザーと遊んでばかりで、勉強の時間なんて、まったく取れませんでした。しかし、自分でもっと勉強したいとおもい、朝早く起きたり、夜遅くまで勉強したりを、自らの意思でしていました。私は留学に行く前は半分以上遊ぶ気持ちで参加していました。しかし、一日が終わると、たくさん分からない単語やフレーズがあります。単語がわからなかったことで、もっと盛り上がったような話も続くことなく終わってしまっていました。そんなことがあると明日には絶対これを覚えて、もう一度この話題で話す！という目標で過ごすようになりました。フレーズも日本語ならもう少し盛り上がる返し方があったであろう時にすごくもどかしい気持ちになりました。今までも幾度となく感じてきた気持ちでしたが、ホストマザーしか話し相手がないので、余計に申し訳ない気持ちになりました。そこで、私はフレーズや言いまわしを覚えて、次の日から絶対使おうという目標をたてていました。それだけの小さな目標ではありましたが、結果は割と早く出ました。話せるようになっていく毎日に余計楽しくなっていました。

4. オーストラリアと日本の違い

まず、オーストラリアは18歳が成人です。ホストマザーには18歳で選挙権はあるし、車は運転できるのにお酒は飲めないのね、日本の制度はと笑われました。確かにその通りですが、選挙権が18歳から持てるようになったこと自体が日本ではとても最近のことです。だからみんなそうは思っている、不思議に思う日本人は少ないでしょう。他の国の人だからこそその意見だったと思います。ホストマザーはすごく政治に興味があり、たくさん教えてくれました。州ごとの代表がいて、首相もいるという制度や、その間の制度などを教えてくれました。喋りすぎだと言われるくらい、英語でいろんな人と話すうちに、オーストラリアはのどかな環境もおおらかな人々も楽しいことが大好きな人が本当に多いことも日本とは違いました。

以上、ご報告でした。行かせていただいた周りの方々に感謝しております。良い経験になりました。